

はじめに

この度は省エネエアコン制御ユニット（TAIRCON-01）をご購入いただき誠にありがとうございます。  
 本機を取り付ける際は、予めバッテリーのマイナス側ターミナルを取り外し、感電、短絡事故が発生しないよう、充分に気をつけて作業を行ってください。  
 短絡（ショート）を発生させると最悪の場合、各種ECU（車に装着されているコンピュータ）が破損し走行不能に陥ることも予想されます。 充分予備知識を蓄えた上で、取り付け作業にとりかかるところをお勧めします。  
 また、取付けに関するサポートは出来る限りさせていただきますので、お気軽にメールをください。  
 車種毎の配線図を車を購入されたディーラから入手されると、より具体的なサポートが可能となりますので、ご一考願います（必要な部分は、A/Cスイッチ周り、ブレーキスイッチ、シフト配線周りの配線図です）

それでは、本機が快適なカーライフの一助となれば幸いです。

動作仕様

本装置は省エネモードとパワーモードの2つのモードを搭載しており、ご希望のモードを選択していただけます。

◎省エネモード

減速時や、下り坂走行時のみA/Cスイッチを自動ONさせるモードです。夏以外の季節で除湿として便利です。

1. フットブレーキ操作、2NDシフトポジションへの操作と連動させた、A/Cスイッチの自動ON/OFF制御が可能です。
2. 傾きセンサーを搭載しており、下り坂で自動的にA/CスイッチをONし、平坦な道に戻るとA/CスイッチをOFFします。

◎パワーモード

信号待ち後の加速時や、上り坂時にA/Cスイッチを自動OFFさせるモードです。パワーロスを抑えたい時に便利です。

1. フットブレーキの連続操作5秒以上を検出した場合、ブレーキ解除直後の10秒間 A/CスイッチをOFF制御します。
2. 傾きセンサーを搭載しており、上り坂で自動的にA/CスイッチをOFFし、平坦な道に戻るとA/CスイッチをONします。

※どの操作と連動制御するかは結線する車両側配線によります。

※制御入力信号は、マイナス制御とプラス制御の2系統を搭載しています。

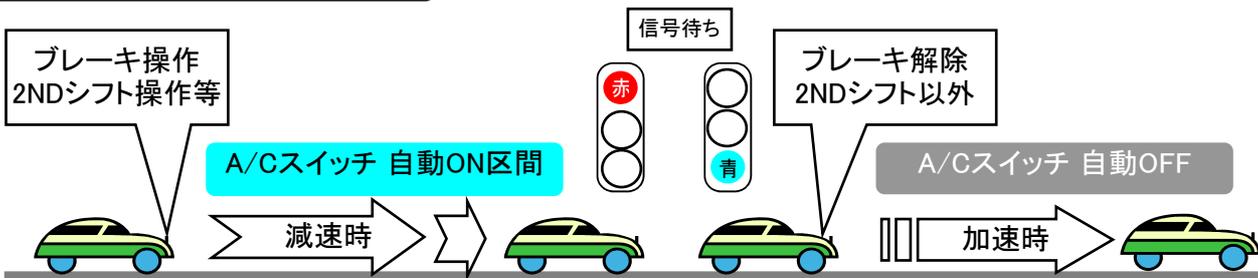
※本装置は12V車専用です。 **12V車両以外には取付けできません。**

※A/Cスイッチがモーメンタリースイッチ（押しでもすぐに戻ってくるタイプ）の場合、スイッチ基盤への半田付け作業が必要となる場合があります。 半田作業も基盤を送付いただければ対応できる場合があります（有料）。

※A/Cスイッチがモーメンタリースイッチ（押しでもすぐに戻ってくるタイプ）の場合、手動でA/Cスイッチを操作するとユニットによる作動条件が反転してしまう場合があります（減速時、下り坂時のみA/Cオフ）。

作 動 イ メ ー ジ

省エネモード

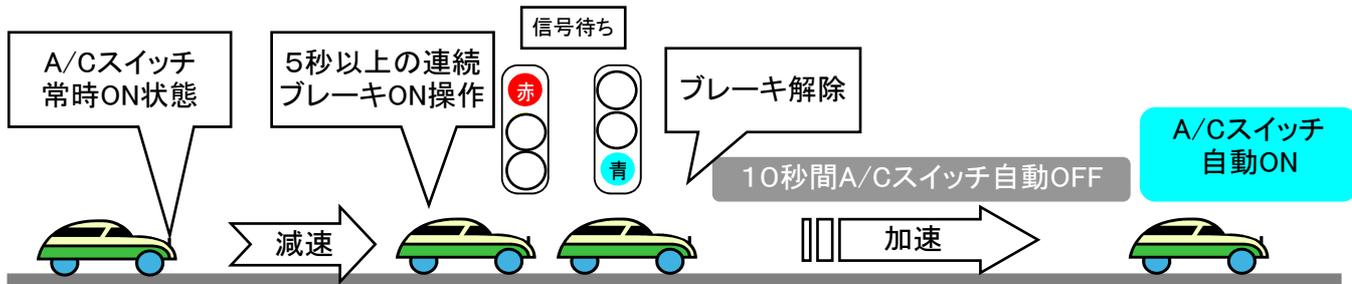


フットブレーキ、2NDシフトポジション位置などによる減速時に A/Cボタンを自動的にON に切り替えて、エアコンによる冷房を行います。 加速時はA/CボタンをOFFに切り替えて、エアコンによる負荷を無くしスムーズな加速をします。 ※どの操作と連動するかは結線する信号配線によります。

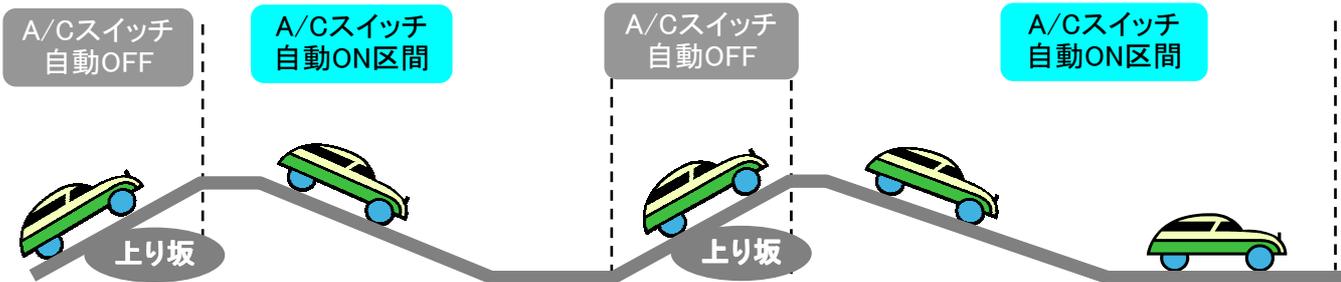


傾きセンサーを搭載しているのです、下り坂などでは A/Cボタンを自動的にON に切り替えてエアコンによる冷房を行います。 上り坂、平坦な道路ではA/CボタンをOFFに切り替えて、エアコンによる負荷をなくします。 ※どの程度の下り坂で作動するかは、本体の設置角度で変わります。 進行方向側を若干上向き設置します。

## パワーモード



フットブレーキ、2NDシフトポジション位置など5秒間以上の連続操作を検出した場合、操作解除直後から10秒間A/Cボタンを自動的にOFFに切り替えて、加速時のエアコンによる負荷を無くしスムーズな加速をします。  
※どの操作と連動するかは結線する信号配線によります。



傾きセンサーを搭載しているので、上り坂などではA/Cボタンを自動的にOFFに切り替えてエアコンによる負荷をなくします。下り坂、平坦な道路ではA/CボタンをONに切り替えて、エアコンによる冷房を行います。  
※どの程度の上り坂でA/C OFF作動するかは、本体の設置角度で変わります。進行方向側を下向き設置します

## 取り付け手順

### << 免責事項 >>

装着の着手を以って、ご了解いただいたものとさせていただきます。

1. 本装置の装着はすべて自己責任のもとで実施願います。
2. 本装置装着による結果、または装着過程において、どのような事態に陥っても弊社に責は無いものとします。

※取り付けにはテスターまたは検電ペンが必要です。

※作業開始前に 装置配線図 を良く御覧いただき、各配線の接続先についてご理解をお願いします。

1. A/Cスイッチ配線にアクセスできるように、A/Cスイッチが付いているインパネ類を外します。
2. A/Cスイッチ両端配線の2本に、本ユニットの対応する配線をそれぞれ接続します。(2本の配線に極性はありません) 接続先の配線はA/CスイッチのON/OFF操作で12Vと0Vが交互に変化する配線になります。

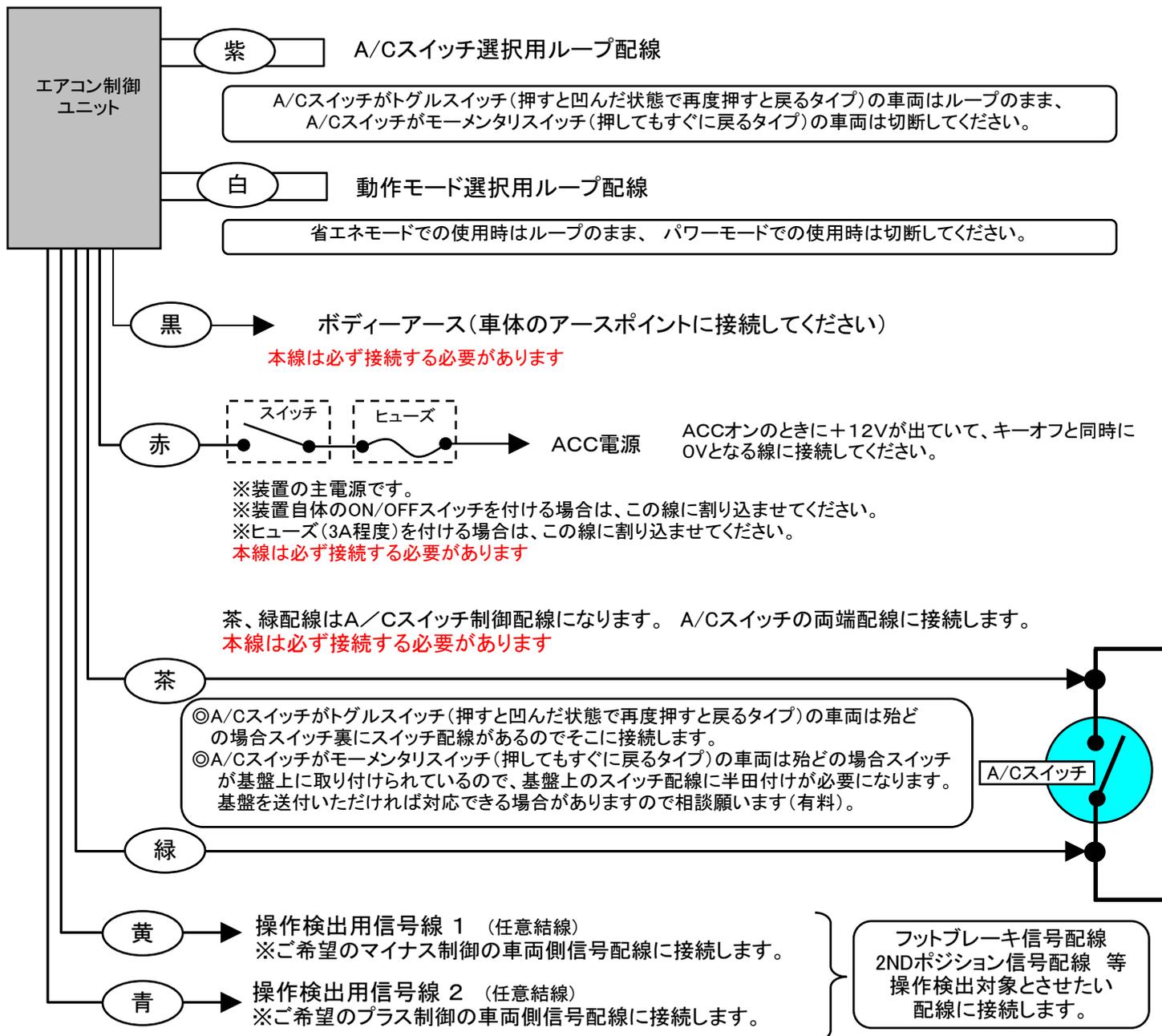
※A/Cスイッチがモーメンタリスイッチ(押しでもすぐに戻るタイプ)の車両は殆どの場合スイッチが基盤上に取り付けられているので、基盤上のスイッチパターン配線から細線を半田付けする必要があります。DIYによる作業が難しい場合は、弊社まで基盤を送付いただければ、有料となりますが細線の半田付け・線出し作業が対応できる場合がありますので、ご相談ください。

3. A/Cスイッチがモーメンタリスイッチの場合は、A/Cスイッチ選択用ループ配線を切断します。
4. パワーモードで使用する場合は、動作モード選択用ループ配線を切断します。
5. キーがACC位置の時、+12Vが流れる配線に、本ユニットの対応する配線を接続します。  
上記配線の位置は車種によって異なりますが、ナビ装着車はナビ裏配線、シガーソケット等から取れる場合が多いです。
6. 装置のボディーアース線を車両のボディー金属部アースポイントに接続します。  
※確実にボディー金属部に接続してください。塗装部分や、ドア金属部は導通していないのでボディーアースとなりません。
7. 操作検出用信号線1、2をそれぞれご希望の車両側信号配線に接続します。任意結線ですので本体内蔵の傾きセンサーのみでの作動(下り坂でA/Cオンまたは上り坂でA/Cオフ)でよい場合は、結線する必要はございません。  
フットブレーキ信号、2NDシフトポジション信号などと連動して作動させる場合は、車両側信号の作動時の電圧を確認して、マイナス制御の場合は操作検出用信号線1に、プラス制御の場合は操作検出用信号線2に結線してください。片方だけでもOKです。

8. ユニット本体を車両に固定します。搭載している傾きセンサーの機能上、省エネモード、パワーモードで設置方法が異なります。詳細は”ユニット設置方法”を参照してください。

以上で終了です。お疲れ様でした。

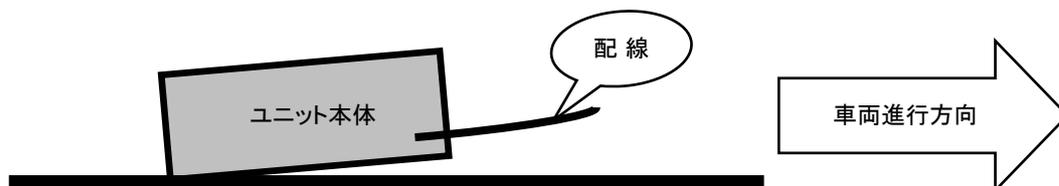
## 配線図



## ユニット設置方法

### <省エネモードで使用するとき>

車両進行方向側を上に向けて設置します。こうすることで傾きセンサーは常時A/Cオフとなり、下り坂走行時のみオンとなります。傾きを小さくするほど、緩い下り坂でA/Cスイッチが自動ONしやすくなります。



### <パワーモードで使用するとき>

車両進行方向側を下に向けて設置します。こうすることで傾きセンサーは常時A/Cオンとなり、上り坂走行時のみオフとなります。傾きを小さくするほど、緩い上り坂でA/Cスイッチが自動OFFしやすくなります。

